



特定非営利活動法人 日本歯周病学会

2016年 第1号 (4月)

ニュースレター

〒170-0003

東京都豊島区駒込 1-43-9 (一財) 口腔保健協会内

TEL: 03-3947-8891 FAX: 03-3947-8341 <http://www.perio.jp/>

発行人 和泉雄一 編集 広報委員会

【主要コンテンツ】

秋季学術大会関連のご案内

認定資格申請のお知らせ

各賞・助成等の選考結果と募集

合宿研修会開催報告

AAP-JSP/JACP 大会のご案内

理事長選挙中間報告

国際交流委員会からのご挨拶



国際交流委員会
委員長 齋藤 淳

新年度を迎え、会員の皆様におかれましては、新たな目標を胸に充実した毎日をお過ごしのことと存じます。国際交流委員会の委員長を拝命し、1年が経過しました。永田俊彦前理事長、和泉雄一理事長、澁谷俊昭前委員長そして多くの理事の先生方にご指導を賜り、勉強しながら業務をこなす毎日です。国際交流の経験豊富な委員会の方々とともに、皆様の歯周病学における取り組みが海外に広く周知され、学会が国際的にさらに発展することを目指して活動してまいります。

さて、今年の大きな活動としては、9月10～13日にカリフォルニア州サンディエゴで開催される、第102回アメリカ歯周病学会 (AAP) 共催大会があります。今回から正式に日本臨床歯周病学会 (JACP) も加わります。平成27年3月のシカゴにおける AAP との会議において、多くの演者・モデレーターが日本側から選出されています。大会中、著名な臨床家や研究者による講演は、世界のペリオの「現在」を知る絶好の機会となりますし、会員発表の場としては、AAP Research Forum Poster Session に加えて JSP/JACP ポ

スターセッションがあります。すでに多くの演題申し込みをいただいております。歯科衛生士の会員の皆様には、Dental Hygiene Symposium や上記ポスターセッションなど、魅力的なプログラムが用意されています。ぜひ、日本の歯科衛生士のパワーと存在感をアメリカで示してください。華やかな企業展示や各種パーティーも開催されますので、楽しみながら世界各国の参加者と交流していただけたと思います。

大会の参加登録は AAP ホームページから行っていく予定です。どのカテゴリーに該当するのか迷うことがないよう、そして参加しやすい料金となるよう AAP 側と交渉を進めてきました。JSP および JACP 会員は、AAP 会員と同等の料金となりますし、学生料金も設定されます。詳細は、定期的に更新される日本歯周病学会ならびに AAP ホームページをご確認ください。

カリフォルニア発祥の地といわれるサンディエゴには、学会の合間に訪れるにふさわしいスポットやアクティビティが沢山あります。美しい海ではホエールウォッチングや各種マリンスポーツが楽しめますし、有名なサンディエゴ動物園やワールドクラスのゴルフコースもあります。最近では、クラフトビールが楽しめるお洒落なお店も増えているとのこと。青い空と海がどこまでも広がるサンディエゴの地で、一人でも多くの会員の皆様にお目にかかれることを、国際交流委員会、そして大会組織委員会一同、楽しみにしております。お誘い合わせのうえ、ご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

追悼 長谷川 明 先生



本学会名誉会員であり、日本歯科大学名誉教授の長谷川 明先生が、2015 年 8 月 5 日にご逝去されました。享年 75 歳でした。

長谷川先生は、1966 年日本歯科大学を卒業後、同大学大学院にて口腔外科を専攻され歯学博士の学位を取得されました。大学院修了後は、同大学口腔外科学教室に入局され、研究・診療・教育に従事されました。1972 年に同大学新潟歯学部開設に伴い新潟歯学部へ赴任し、1973 年口腔外科学教室第 1 講座助教授に昇任の後、1977～78 年アメリカ カリフォルニア大学ロスアンジェルス校 ハーパー UCLA メディカルセンターに留学されました。

1982 年 1 月には、同大学新潟歯学部附属病院歯周治療科開設とともに科長に、1984 年 4 月には歯周治療学教室開設とともに主任教授に就任されました。当時は、わが国における歯周治療は、まだ未開拓分野で完治しない疾患としてとらえられていた時代でした。開設に伴い、アメリカやスウェーデンを視察し、それを基に現在の新潟生命歯学部歯周病治療の診療体系を組み、チャートを作成されました。この診療体系の確立は、その後の教室における研究の基礎となり、歯周組織検査の客観的解析手段に関する研究として、わが国における歯周病治療の確立期に歯周病の病態を把握するための検査項目についての長期研究をまとめられま

した。研究では、発症の原因因子であるプラークの評価に加え、歯肉の炎症反応の評価に着眼し、炎症による色彩・形態等の変化から歯周病治療に必要な検査項目を確立されました。さらに、具体的な検査方法として歯周ポケットの深さを的確に把握するための器具の開発に努め、解剖学的要素を加味した検査器具を開発しました。

その他にも、歯周基本治療における機械的清掃法に関する研究、新たな器具・器材を応用した歯周外科手術手技の研究、審美歯科学的要素を加味した歯周形成外科に関する研究など臨床的な内容を中心に研究・報告されてきました。

本学会においては、1989 年第 32 回春季学術大会大会長を、常任理事として国際交流委員長を 2 期務められ、2000 年に行われたアメリカ歯周病学会 (AAP) と本学会との合同学会の礎を築かれました。また、2006 年には本学会学会賞も受賞されております。

長谷川先生は、本学新潟歯学部附属病院副院長、新潟歯学部図書館長の重責に就かれながらも地域における歯周病学の発展にも寄与され、1984 年には歯周治療研修コースを開始し、その後 1986 年からは歯周治療研究会として新潟市近郊の先生方と年 2 回の勉強会を続けてこられました。

2005 年に、アメリカ留学中に抱いた夢である「若いうちに一生懸命働いて、早めにリタイヤし、その後の人生を楽しむ」ため、選定定年され、少し離れたところから歯科会の躍進をみておられたようです。

わが国の歯周病学の発展にご尽力された先生のご功績に心から感謝を捧げるとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

日本歯科大学新潟生命歯学部歯周病学講座
佐藤 聡

第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会開催のご案内

第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会を下記のとおり開催いたします。多数の皆様のご参加とご発表をお願いいたしたく、ご案内申し上げます。

大会長 佐藤 聡

1. 会期 平成 28 年 10 月 6 日 (木)、7 日 (金)、8 日 (土)
2. 会場 朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター
〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島 6-1

TEL : 025-246-8400

3. 日程

6日：認定医筆記試験，各種委員会，理事会，理事懇親会

7日：特別講演Ⅰ・Ⅱ，総会・評議員会，韓国歯周病学会会長講演，シンポジウムⅠ，Sunstar Young Investigator Award 口演，ランチョンセミナー，スイーツセミナー，一般演題（口演・ポスター），企業展示

8日：倫理委員会企画講演，特別講演Ⅲ，シンポジウムⅡ，日本歯科医学会会長講演，認定医・専門医教育講演，歯科衛生士シンポジウム，歯科衛生士教育講演，臨床ポスター（認定医・専門医），歯科衛生士症例ポスター，ランチョンセミナー，スイーツセミナー，企業展示

上記プログラム内容には変更が生じる場合がありますので，プログラム詳細は**学術大会ホームページ** <http://admedic.jp/jspace59/>（日本歯周病学会ホームページ <http://www.perio.jp> からリンクしています）をご覧ください。

4. 参加登録費（事前参加登録および当日参加登録）

	事前参加登録	当日参加登録
正会員（歯科医師・医師）	5,000 円	7,000 円
準会員（上記以外）	3,000 円	4,000 円
非会員（歯科医師・医師）	10,000 円	12,000 円
非会員（上記以外）	5,000 円	7,000 円
学生（歯学部・専門学校生）	——	1,000 円

事前参加登録期間

平成 28 年 5 月 26 日（木）正午より

平成 28 年 8 月 12 日（金）正午まで

※事前参加登録の詳細は学術大会ホームページにて，Sunstar Young Investigator Award，ランチョンセミナー，スイーツセミナー，宿泊と併せてご案内いたします。

5. 一般演題（口演・ポスター発表）演題登録

学術大会ホームページよりご登録ください。

抄録作成については，ホームページ記載の執筆要綱（5 月下旬に公開予定）をご確認ください。準備中に登録された抄録については削除されますので，登録期間以前にはアクセスしないようお願いいたします。なお，郵送による演題登録は原則として受け付けておりません。諸事情のためオンライン登録が不可能な場合には，第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会（演題・参加）登録事務局（（一財）口腔保健協会 コンベンション事業部・田邊 TEL 03-3947-8761，FAX 03-3947-

8873，E-mail jspace59@kokuhoken.jp）までご連絡ください。

1) 演題発表資格者

学術大会での発表は，1 名 1 演題までです。発表者は必ずしも本学会会員である必要はありません。ただし，非会員が発表者の場合，あるいは共同発表者に含まれる場合は 1 名につき 5,000 円を抄録掲載料としてご負担いただきます。なお，この抄録掲載料は本学術大会にのみ有効です。

2) 演題および抄録登録期間

平成 28 年 5 月 26 日（木）正午より

平成 28 年 6 月 17 日（金）正午まで（締切厳守）

登録期間終了日は，アクセス集中によるエントリー遅延，不具合が起りやすいので，早めに登録をお済ませください（登録期間以降は，受付・オンライン修正・削除はできません）。

一般演題（口演・ポスター発表）の演題登録・発表方法に関する詳細は，学術大会ホームページで案内予定です。

演題登録時には登録サイトにて，留意事項を必ずご確認のうえ，応募くださいますようお願い申し上げます。留意事項を逸脱する行為，演題内容は発表をお断りすることがあります。

6. 一般演題の発表方法

口演発表の発表時間は，1 演題 8 分以内，質疑応答 2 分です。PC（Windows Microsoft PowerPoint 2007 以降）による発表とさせていただきます。Macintosh をご使用の場合は，ご自身で PC，アダプターをお持ちください。

ポスター発表のポスターのパネルサイズは，高さ 210 cm×幅 90 cm とします。

詳細は，学術大会ホームページをご参照ください。

なお，臨床研究の場合は所属機関の倫理委員会の承認，症例報告の場合には患者の同意，発表内容に関して利益相反に関する内容を明記してください。

7. Sunstar Young Investigator Award のご案内

本賞は，日本歯周病学会会員による学術大会発表において，優れた研究を発表した若手研究者を表彰することを目的としております。表彰対象は，本学会評議員の推薦を得て，当該年度の日本歯周病学会 Sunstar Young Investigator Award に応募し，学術大会において発表された口頭発表の筆頭発表者で，2 年以上の会員歴を有する，33 歳未満の者であることが条件となっております。また，受賞者には本賞（Sunstar Young Investigator Award 賞状）のほかに，サンスター株式会社から副賞 5 万円と盾（Sunstar Award）が贈られます。なお，最終審査は大会期間中に行い，大会 2 日

目、10月8日（土）15時よりA会場において受賞者の発表を行います。

8. Sunstar Young Investigator Award 聴講者募集のご案内

本学術大会において開催される、Sunstar Young Investigator Award の聴講者を募集いたします。

本学術大会1日目、10月7日（金）11時20分からB会場にて、すでに応募された演題のなかから一次審査で選出された5演題について、最終審査のための口頭発表を行います。多数の皆様のご聴講をお待ちしております。

本学術大会の事前参加登録された方のみ、6月1日から8月12日の期間に、Sunstar Young Investigator Award 聴講の事前登録を受け付けます。まず、学術大会の事前参加登録を行っていただき、登録時に発行されるIDとご登録のE-mailをご用意のうえ、手続きを行ってください。お昼の時間帯ですので、聴講者の皆

様には、ランチョンセミナーと同様にお弁当を配布いたします。事前登録の詳細は学術大会ホームページをご確認ください。同時に開催されるランチョンセミナーとの併せてのご登録はできませんので、ご承知おきください。数に限りがございます。ご登録後のキャンセルは、他の方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

第59回秋季日本歯周病学会学術大会

準備委員長 両角祐子

（日本歯科大学新潟生命歯学部歯周病学講座）

第59回秋季日本歯周病学会学術大会運営事務局

〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島5-1

万代島ビル13F

株式会社アド・メディック

TEL：025-245-4087 FAX：025-247-8081

E-mail：jspa59@admedic.jp

第59回秋季日本歯周病学会学術大会臨床ポスター （認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター）発表申し込みのご案内

学術大会における臨床ポスター（認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター）発表の演題募集は、一般演題とは別になります。下記の要領でお申し込み頂くこととなりますが、受付は下記のWebサイトのみからになりますのでご注意ください。

<http://admedic.jp/jspace59/>（学会ホームページ）
<http://www.perio.jp> からも入れます）

演題申し込みおよび抄録作成方法などの詳細は5月上旬にサイト上で公開予定です。認定医・専門医と歯科衛生士症例のポスターカテゴリーごとに必ずご確認ください。なおオンラインでの申し込みが不可能な方は、第59回秋季日本歯周病学会学術大会（演題・参加）登録事務局（FAX：03-3947-8873、E-mail：jspace59@kokuhoken.jp）までお問い合わせ下さい。

1. 演題発表資格

いずれのカテゴリーとも、筆頭発表者が学会認定資格（認定医・歯周病専門医あるいは認定歯科衛生士）を有している必要はありません。また本学会会員以外の方でも発表可能です。ただし非会員が筆頭あるいは共同発表者として含まれる場合は、1名につき5,000円を本学術大会限りの抄録掲載料として申し受けます。また、本学術大会における筆頭発表は1名1演題

までといたします。詳細はWebサイトをご参照ください。

2. 演題申込および抄録登録期間

平成28年5月26日（木）正午より

平成28年6月17日（金）正午まで（締切厳守）

※登録期間終了日はアクセス集中によるエントリー遅延、不具合が起りやすいので、それ以前の早めの時期に登録をお済ませください。

その他、演題申し込み時には登録サイトにて、留意事項を必ずご確認のうえで応募くださいますようご案内申し上げます。留意事項を逸脱する行為および演題内容については発表をお断りすることがあります。**特に「国内未承認薬・材料・機器の使用」「適応外使用」「未承認治療法」に係る症例は臨床ポスターとしての発表は不可です。また臨床研究発表では所属機関の倫理委員会等の承認、症例報告の場合は患者の同意を得ていることをポスターに明記する必要がありますので、ご注意ください。**

発表者は利益相反（COI）の有無に関わらず、利益相反申告書の提出、ならびにポスター末尾に利益相反に係る開示が求められております。詳細は学術大会ホームページをご参照願います。

3. 臨床ポスター発表の特典

臨床ポスター発表を行うと、筆頭発表者に対して資格申請・更新に必要な所定の研修単位が付与されます（専門医の申請時、および認定医と専門医の更新時の生涯研修単位における業績発表単位は10単位、認定歯科衛生士の申請時・更新時の生涯研修単位における業績発表単位は10単位）。

4. 臨床・症例ポスターの発表様式

パネルサイズは高さ210cm×幅90cmといたします。表示形式および表記様式、ポスター討論についての留意事項をWebサイトにてご案内しておりますのでご確認ください。演題番号の個所や顔写真の掲示場所、承認や同意の記載場所、ポスター討論の時間等細かく規定されておりますので必ずご確認ください。なお、演題登録後における抄録の変更や討論時の発表者交代は認められません。ただし、なんらかの事情で発

表ができなくなった場合は運営事務局にご連絡ください。

5. ポスター賞について

本発表は、カテゴリーごとに認定医・専門医優秀ポスター賞、ベストハイジニスト賞の選考対象となります（ただし、留意事項を遵守されていない場合は対象外となります）。受賞発表および表彰は次回学術大会（第60回春季日本歯周病学会学術大会）にて行われます。その際、認定医・専門医最優秀・優秀臨床ポスターについては再掲をいたしますので、発表ポスターの保管にご協力願います。

（専門医委員会委員長 坂上竜資、
認定医委員会委員長 中島啓介、
歯科衛生士関連委員会委員長 澁谷俊昭）

認定医、専門医・指導医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ

日本歯周病学会では、本年度の認定医、専門医・指導医および認定歯科衛生士の申請と更新、ならびにその研修施設および学会認定研修会の申請を受け付けます。各資格についてのタイムスケジュールは以下のとおりです。

1. 認定歯科衛生士申請（第23回認定歯科衛生士認定審査）および更新

平成28年5月23日（月）：受付開始

平成28年6月3日（金）：締め切り（消印有効）

平成28年6月下旬：申請および更新に関する書類審査会開催

平成28年7月下旬～8月上旬：（申請者のみ）ケースプレゼンテーション

平成28年10月6日（木）：申請・更新合格者を理事会で承認

平成28年10月7日（金）：第59回秋季学術大会時合格発表

平成28年11月：認定歯科衛生士認定証発行

2. 専門医・指導医申請（第55回専門医・指導医認定審査）および各資格の更新

平成28年5月30日（月）：受付開始

平成28年6月17日（金）：締め切り（消印有効）

平成28年7月中旬：申請および更新に関する書類審査会開催

平成28年9月上旬：（専門医申請者のみ）専門医認定試験（ケースプレゼンテーションと口頭試問）開催

平成28年10月6日（木）：各資格申請・更新合格者を理事会で承認

平成28年10月7日（金）：第59回秋季学術大会時に合格発表

平成28年11月：専門医・指導医認定証発行

3. 認定医申請（第16回認定医認定審査）および更新

平成28年6月20日（月）：受付開始

平成28年7月8日（金）：締め切り（消印有効）

平成28年7月下旬：申請および更新に関する書類審査会開催

平成28年10月6日（木）：（申請者のみ）筆記試験会場：朱鷺メッセ

申請・更新合格者を理事会で承認

平成28年10月7日（金）：第59回秋季学術大会時に合格発表

平成28年11月：認定医認定証発行

以上の各資格の申請・更新手続き、申請書類や規則等については、学会ホームページ（<http://www.perio.jp>）をご確認ください。ホームページに記載された方法に準拠しない申請・更新手続きは無効となります。なお、規則・細則は改訂されることがありますので、ホームページにおける申請受付前1カ月以内の最新の

記載内容を確認して下さい。

認定検査データ作成ソフト“JSP-Chart”改良版リリースのお知らせ

JSP チャートワーキンググループが進めておりました“JSP-Chart”の改良について、この度、改良版が完成し、ホームページへアップロードを行いました。これから新たに申請される方、また、既にインストールされている方におかれましては、改良版をご利用ください。

研修施設申請・更新のお知らせ

認定医、専門医を養成する歯科医療機関を認定する制度です。申請・更新受付とも期間は平成 28 年 5 月 30 日（月）～6 月 17 日（金）（消印有効）です。申請・

更新手続きについては、学会ホームページ（<http://www.perio.jp>）に記載しておりますので、これに従い手続きを行って下さい。

認定医・専門医・指導医更新に関わる研修単位を取得できる専門医委員会が認めた歯周病に関する学会および研修会申請についてのお知らせ

歯周病学に関する専門的研修に寄与する学会、指導医等主催による任意の研修会について、研修単位取得対象研修会としての認定をする制度です。申請期間は平成 28 年 5 月 30 日（月）～6 月 17 日（金）です。手続きの方法等を学会ホームページ（<http://www.perio.jp>）に記載しておりますので、これに従い手続きを行って下さい。平成 28 年 7 月末頃までに専門医委員会の審査による認定の諾否を通知いたします。

第 22 期理事長選挙中間報告

来る平成 28 年 5 月 19 日に開催される、第 59 回春季日本歯周病学会学術大会時の理事会において、次期理事長選出の選挙を行います。

理事長選挙管理委員会より、事前に理事長有資格者の先生方に立候補の意思の確認をさせていただいたところ、下記の 3 名の先生が「理事長有資格者として理事会の議を経て選挙管理委員会に推薦される事」に同意してくださいました。なお、所信表明をご執筆いただいております。

同意者が 3 名にとどまったため、評議員選挙での上位 5 名を決定する必要がなくなり、選挙は 5 月 19 日の第 59 回春季日本歯周病学会学術大会時の理事会での 1 段階選挙となります。

しかし、規定上の手続きにより、選挙の前に理事会において次期理事長有資格者 3 名を一括して選挙管理委員会に推薦いただく必要があります、持ち回り会議（郵送）によりご了承をいただきました。

結果といたしまして、理事 46 名中 46 名のご返答があり、その全員に理事会よりの推薦として同意いただ

きましたのでご報告いたします。

定款 37 条の 3 分の 2 以上を満たしておりますので理事会（持ち回り会議）として成立し、第 38 条による理事総数の過半数の同意も得られましたので正式に理事会承認とさせていただきます。

3 名の「次期理事長有資格者」を選挙管理委員会より「次期理事長候補者」として平成 28 年 5 月 19 日に開催される、第 59 回春季日本歯周病学会学術大会時の理事会において報告させていただき、当日直接選挙が行われます。

記

次期理事長候補者：小方頼昌・栗原英見・坂上竜資
(届出日順)

理事長選挙管理委員会
委員長 八重柏 隆

学術賞・研究助成・研修会等のご案内

下記の募集を行います。いずれも学会ホームページにて詳細をご確認ください。

1～3 はホームページからの申請です。

申請期間：平成 28 年 4 月 25 日～6 月 17 日（共通）

1. 第 16 回日本歯周病学会学術賞（2016 年度）

本賞は、会員のうち歯周病学において継続して優れた業績を上げた研究者の功績を讃えることを目的に設けられました。副賞としてライオン株式会社のスポンサーシップを得ており、本賞（学術賞盾）のほかに副賞 20 万円と盾（LION Award）が贈られます。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

http://kokuhoken.sakura.ne.jp/jsp/form_science/

2. シーズ育成若手奨励研究助成（2017 年度）

本会では若手会員を対象とし、わが国における歯周病の研究・教育・医療および予防を推進することにつながるシーズ研究を奨励することを目的として、シーズ育成若手症例研究助成を制定しております。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

http://kokuhoken.sakura.ne.jp/jsp/form_seeds/

3. 企画調査研究助成（2017 年度）

本会では、わが国における歯周病の研究・教育・医療および予防を推進することにつながる多施設研究を推進することを目的として、企画調査研究助成を制定しております。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

http://kokuhoken.sakura.ne.jp/jsp/form_project/

4. 第 3 回「若手研究者の集い」合宿研修会

本研修会は、若手研究者のリサーチマインドをさらに活性化することを目的としております。秋季学術大会にあわせて開催される講演会と懇親会を含む 1 泊 2 日の合宿形式のイベントです。詳細につきましては、秋季学術大会の演題募集時期に合わせて学会ホームページで通知いたします。

5. 歯科衛生士教育講演会

開催が決定次第、ホームページで通知いたします。

<http://www.perio.jp/member/>

6. 臨床研修会

開催が決定次第、ホームページで通知いたします。

<http://www.perio.jp/member/>

各賞・助成選考結果

対象者および受賞者の所属は、選考・受賞時のものです。

シーズ育成若手奨励研究助成（2015 年度）

対象者氏名と研究課題は以下のとおりです。

鈴木瑛一

（東京歯科大学歯周病学講座）
「遺伝子改変マウスを使用した
歯槽骨再生過程における新規転
写因子の解明」



企画調査研究助成（2015 年度）

対象者氏名と研究課題は以下のとおりです。

山崎和久（新潟大学・医歯学系）
「口腔細菌と腸内細菌の関連探
索のためのパイロット研究」

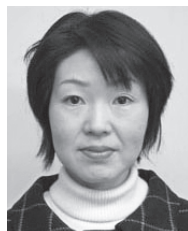


第15回日本歯周病学会学術賞（2015年度）

受賞者と研究課題は以下のとおりです。

中島貴子

（新潟大学大学院医歯学総合研究
科歯学教育研究開発学分野）
「T細胞免疫応答解析を基盤と
した歯周炎と全身応答の関連解
明」



第13回会誌賞（2014年度）

受賞論文と著者は以下のとおりです（基礎分野は受
賞者なし）。

臨床分野

「エナメルマトリックスデリバ
ティブを用いた先進医療の臨床
評価と歯周組織再生予測因子の
検討」

56巻(3)：302-313, 2014

塩山秀裕，水谷幸嗣，青山典生，須田智也，田中敬子，
遠藤亜希子，楠 侑香子，山脇史寛，藤原-高橋 香，
木下淳博，荒川真一，小田 茂，和泉雄一

筆頭著者所属：東京医科歯科大学歯学部附属病院
口腔ケア外来



優秀臨床ポスター賞（第58回春季学術大会）

受賞者と受賞演題は以下のとおりです。

最優秀ポスター賞

齋藤政一

（東京・医療法人社団政志会 サ
イトウ歯科）

「包括的治療を行った重度慢性
歯周炎患者の19年の治療経過」



優秀ポスター賞

佐藤 奨

（岩手・医療法人育成会中央歯
科クリニック）

「矯正治療を含めた包括的治療
により残存歯の保存に努めた症
例」



ベストハイジニスト賞（第58回春季学術大会）

受賞者と受賞演題は以下のとおりです。

永田鈴佳（静岡・池田歯科医院）

「関節リウマチ疾患のある重度
慢性歯周炎患者に対し医科との
連携を行った一症例」



功労賞（2015年度）

受賞賛助会員は以下のとおりです。

株式会社モリタ

**第102回アメリカ歯周病学会共催
日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会 2016大会のご案内**

第102回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会・
日本臨床歯周病学会 2016大会（AAP-JSP/JACP サン
ディエゴ大会）が、右記のとおり開催されます。

開催日：2016年9月10～13日
会場：San Diego Convention Center
San Diego, CA, USA



ムページ (<http://www.perio.jp/> AAP-JSP/JACP 大会バナー) でご案内いたします。順次更新される最新情報にご注目ください。

JSP/JACP ポスターセッションも開催され、優秀な発表に表彰 (JSP/JACP ポスター賞) が行われます。

ポスターカテゴリー: General (Basic, Clinical research), Case Report, Dental Hygiene

皆様お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

日本からも多くの先生方が演者として採択されております。

参加登録は、JSP/JACP 会員専用登録サイトで行ってください。詳しい登録方法は、日本歯周病学会ホー

理事長 和泉雄一
国際交流委員会・大会組織委員会
委員長 齋藤 淳

第2回「若手研究者の集い」合宿研修会の開催報告

昨年度に引き続き第2回「若手研究者の集い」合宿研修会が開催され、全国から大学院生を中心に40名が参加しました。研修会会場であるオークラアクティビティホテル浜松は、第58回秋季日本歯周病学会学術大会 (大会長: 松本歯科大学歯科保存学講座 吉成伸夫教授) のヘッドクォーターであり、その3階のセミナー会場と宴会会場にて学術大会前日の15時から執り行われました。

本研修会は、平成26年に永田理事長のご発案の下、学会あり方委員会主催で始まりました。若手研究者が一堂に会して、留学経験者のセミナーを通じて海外留学へのモチベーションを高めること、さらに合宿形式

のイベントを通じて大学間の交流を促進し、リサーチマインドを活性化することを目的に行われています。

第1回の合宿研修会は、招待講演を含む2日間の開催でしたが、今回は時間的な制限も考慮して1日で行われました。講演者として、藤原千春先生 (大阪大学)、廣島佑香先生 (徳島大学)、前川知樹先生 (新潟大学)、林 千絵先生 (クリニックデュボワ) の4人の先生方が、留学にいたるまでの過程、留学中のさまざまな経験、そして帰国してからの活動などについて話されました。それぞれのご発表は非常に個性的で、会場は笑いに包まれながら、参加者は貴重な体験を興味津々に聞いていました。いずれの先生も、いろいろな苦労がある留学生活のなかでの研究に対する情熱と、人との繋がりの大切さを話されました。

その後の懇親会では、お酒を飲みながら、講演者の先生も交えて留学に関してだけでなく、各大学の裏話





(?)も含めたいろいろな話で交流の輪が広がりました。さらに、同ホテル 45 階の展望回廊にて行われた懇親会二次会には、理事懇親会が終わって駆けつけてくださった和泉理事長と理事の先生方にもご参加いただき、盛会のうちに閉会となりました。

後日に参加者に対して行ったアンケートでは、ほとんどの方が研修会に満足し、留学への思いが強くなったとの感想をいただきました。今後もさらに充実した

研修会を継続できればと考えております。最後になりましたが、本研修会の開催にあたりましてご尽力いただいたすべての先生方、とりわけ、学会あり方委員会委員長の吉江先生とワーキンググループの先生方に感謝いたします。

「若手研究者の集い」合宿研修会ワーキンググループ

幹事 岡山大学 山本直史

役員名簿

日本歯周病学会役員 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

理事長	和泉雄一	副理事長	小方頼昌				
常任理事	梅田 誠	栗原英見	齋藤 淳	坂上竜資	佐藤 聡	澁谷俊昭	申 基喆
	中島啓介	西村英紀	野口和行	東 克章	古市保志	森田 学	山崎和久
	山本松男	吉江弘正	吉成伸夫				
前理事長	永田俊彦			監 事	新井 高	前田勝正	
庶務担当	村上伸也	(幹事 水谷幸嗣)		会計担当	沼部幸博	(幹事 青山典生)	
名誉会員	岩本義史	末田 武	岡本 莫	中村恭政	雨宮 璋	見 明	清 川崎 仁
	中村治郎	堀内 博	二階宏昌	岡田 宏	加藤 熙	上野和之	村山洋二
	滝口 久	斎藤和子	栢 豪洋	村井正大	齋藤 滋	鴨井久一	石川 烈
	太田紀雄	亀山洋一郎	岡本 浩	矢嶋俊彦	渡邊達夫	宮下 元	奥田克爾
	山田 了	角田正健	新井 高	上田雅俊	横田 誠	零 石 聰	伊集院直邦
	下野正基	川瀬俊夫	Alice DeForest	Pierre C. Baehni	安孫子宜光	伊 藤 公一	
	前田勝正	Martin A. Taubman	野口俊英	出口真二	大塚吉兵衛	宮田 隆	
	伊東隆利	野村慶雄	谷口威夫	Robert Genco			

評 議 員 ◎理事長 ●副理事長 ◎常任理事 ○理事

北海道大学大学院歯学研究科
菅 谷 勉(歯周・歯内, 准)

北海道医療大学歯学部

◎◎古市保志(歯周・歯内, 教)

加藤幸紀(歯周・歯内, 講)

長澤敏行(臨床教育管理運営, 教)

森 真理(高度先進保存, 講)

岩手医科大学歯学部

○八重柏 隆(歯周病学, 教)

東北大学大学院歯学研究科

根本英二(歯内・歯周, 准)

庄 司 茂(歯内・歯周, 講)

奥羽大学歯学部

○高橋慶壮(歯周病学, 教)

大島光宏(薬学部, 教)

新潟大学大学院医歯学総合研究科

◎◎吉江弘正(歯周診断・再建学, 教)

奥田一博(歯周診断・再建学, 准)

久保田健彦(歯周診断・再建学, 講)

◎◎山崎和久(口腔生命福祉学, 教)

川瀬知之(歯科薬理学, 准)

小林哲夫(歯科総合診療, 准)

中島貴子(歯学教育, 講)

杉田典子(総合病院, 講)

多部田康一(総合病院, 講)

明海大学歯学部

◎◎申 基喆(歯周病, 教)

辰巳順一(歯周病, 准)

林 丈一朗(歯周病, 准)

○荒木久生(オーラルリハビリテーション学, 教)

東京医科歯科大学

大学院医歯学総合研究科

◎◎和泉雄一(歯周病学, 教)

渡辺 久(歯周病学, 准)

萩原さつき(歯周病学, 講)

青木 章(歯周病学, 講)

○木下淳博(教育メディア開発学, 教)

荒川真一(生涯口腔保健衛生, 教)

小田 茂(総合診療部, 准)

新田 浩(歯科医療行動科学, 准)

東京歯科大学

◎◎齋藤 淳(歯周病, 教)

富田幸代(歯周病, 講)

○石原和幸(微生物, 教)

杉戸博記(保存, 准)

伊藤 太一(口腔インプラント学, 講)
日本歯科大学生命歯学部

◎◎沼部 幸博(歯周病, 教)
伊藤 弘(歯周病, 准)
関野 愉(歯周病, 講)
○仲谷 寛(総合診療, 教)
大澤 銀子(総合診療, 講)
川村 浩樹(総合診療, 准)

日本歯科大学新潟生命歯学部

◎◎佐藤 聡(歯周病, 教)
両角 祐子(歯周病, 准)
大森みさき(総合診療科, 准)
阿部 祐三(総合診療科, 准)
坂井 由紀(歯科衛生科, 衛)

日本大学歯学部

○佐藤 秀一(歯周病, 教)
菅野 直之(歯周病, 准)
吉沼 直人(歯周病, 講)
落合 邦康(細菌, 教)

日本大学松戸歯学部

◎◎小方 頼昌(歯周治療, 教)
高井 英樹(歯周治療, 講)
中山 洋平(歯周治療, 講)
落合 智子(感染免疫, 准)
中村 悦子(附属病院, 衛)

昭和大学歯学部

◎◎山本 松男(歯周病, 教)
須田 玲子(歯周病, 准)
滝口 尚(歯周病, 講)

神奈川歯科大学

○三 辺 正 人(歯周病, 教)
秋月 達也(歯周病, 講)
菅谷 彰(総合教育, 教)
山本 龍生(社会歯科, 准)
高橋 理(組織, 教)
田村 利之(横浜研修センター, 講)

鶴見大学歯学部

○五味 一博(歯周病学, 教)
金指 幹元(歯周病学, 講)
長野 孝俊(歯周病学, 講)
渡辺 孝章(短期大学部, 教)
小林 一行(短期大学部, 准)

吉川 景子(附属病院, 衛)
松本歯科大学

◎◎吉成 伸夫(保存(歯周), 教)
石原 裕一(保存(歯内), 教)
音琴 淳一(健康増進口腔科学, 教)
宇田川 信之(生化学, 教)
田口 明(歯科放射線学, 教)
藤井 健男(総合診察室, 教)
西窪 結香(大学病院, 衛)

朝日大学歯学部

◎◎澁谷 俊昭(歯周病, 教)
北後 光信(歯周病, 准)
安田 忠司(歯周病, 講)
荒木 美穂(歯科衛生士専門学校, 衛)

愛知学院大学歯学部

○三谷 章雄(歯周病学, 教)
林 潤一郎(歯周病学, 講)
菊池 毅(歯周病学, 講)
稲垣 幸司(短期大学部, 教)
○福田 光男(特殊診療科, 教)

大阪歯科大学

◎◎梅田 誠(歯周病学, 教)
田口 洋一郎(歯周病学, 講)
○田中 昭男(口腔病理, 教)
大浦 清(薬理, 教)
前田 博史(口腔治療, 教)
王 宝禮(細菌学, 教)
合田 征司(生化学, 講)

大阪歯科大学大学院歯学研究科

◎◎村上 伸也(口腔治療, 教)
北村 正博(口腔治療, 准)
山田 聡(口腔治療, 講)
○恵比須 繁之(歯科保存, 教)

徳島大学歯学部

○永田 俊彦(歯周歯内, 教)
木戸 淳一(歯周歯内, 准)
成石 浩司(大学病院歯周病科, 講)
伊藤 博夫(予防歯学, 教)
尾崎 和美(口腔保健学, 教)

広島大学歯学部

◎◎栗原 英見(歯周病態学, 教)
柴 秀樹(歯髓生物学, 教)

藤田 剛(大学病院, 准)
水野 智仁(大学病院, 講)

宮内 睦美(病理態学, 准)
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
○高柴 正悟(歯周病態学, 教)

◎◎森田 学(予防歯科学, 教)
九州歯科大学

◎◎中島 啓介(歯周病, 教)
白井 通彦(歯周病, 准)
久保田 浩三(口腔機能支援, 教)
○西原 達次(感染分子生物学, 教)

九州大学大学院歯学研究科

◎◎西村 英紀(歯周制御, 教)
濱地 貴文(大学病院歯周病科, 講)

福岡歯科大学

◎◎坂上 竜資(歯周病, 教)
永井 淳(地域連携センター, 教)
金子 高士(口腔医療センター, 教)

鹿児島大学歯学部

◎◎野口 和行(歯周病, 教)
町頭 三保(附属病院, 講)
白方 良典(附属病院, 講)

長崎大学歯学部

○原 宜興(歯周病学, 教)
吉村 篤利(歯周病学, 准)
鵜飼 孝(歯周病学, 講)

日本医科大学

鴨井 久博(総合医療・健康科学, 准)
慶應義塾大学

○中川 種昭(歯科・口腔外科, 教)
穂坂 康朗(歯科・口腔外科, 講)

東京女子医科大学

岩田 隆紀(先端生命, 講)

静岡県立大学短期大学部

吉田 直樹(歯科衛生学科, 准)

神戸常盤大学短期大学部

溝部 潤子(口腔保健学科, 教)

日本歯科大学東京短期大学

野村 正子(歯科衛生科, 衛)

九州看護福祉大学

金子 憲章(口腔保健学科, 教)

一般関係(五十音順)

赤堀 康(愛知県)
新井 英雄(岡山県)
○有田 博一(東京都)
飯野 文彦(東京都)
○池田 雅彦(北海道)
池田 康男(静岡県)
石谷 昇司(東京都)
磯島 修(岡山県)
市丸 英二(佐賀県)
市村 光(埼玉県)
伊藤 正満(愛知県)
岩本 義博(香川県)
内田 剛也(神奈川県)
梅村 昌孝(愛知県)
江澤 庸博(東京都)
遠藤 憲行(岩手県)
大石 慶二(香川県)
大石 美佳(徳島県)

○大野 友三(愛知県)
岡部 京平(京都府)
長田 豊(長崎県)
鬼塚 得也(福岡県)
笠原 信治(徳島県)
片山 明彦(千葉県)
加藤 義弘(北海道)
金子 至(長野県)
河口 浩之(広島県)
河原 傳(愛知県)
蒲沢 文克(北海道)
菊池 重成(東京都)
北村 秀和(東京都)
木村 英隆(福岡県)
熊谷 敦史(岩手県)
黒柳 隆穂(愛知県)
郷家 英二(東京都)
河野 寛二(奈良県)

小島 丈尚(東京都)
○児玉 利朗(神奈川県)
小林 博(東京都)
佐瀬 聡良(千葉県)
真岡 淳之(滋賀県)
澤田 弘一(岡山県)
汐見 登(静岡県)
洪川 義宏(北海道)
篠原 啓之(徳島県)
島内 英俊(愛知県)
島袋 善夫(大阪府)
白木 雅文(岐阜県)
杉山 貴志(神奈川県)
鈴木 康司(東京都)
鈴木 基之(東京都)
関野 仁(東京都)
田井 秀明(新潟県)
瀬戸口 尚志(鹿児島県)

高橋 潤一(東京都)
滝川 雅之(岡山県)
田中 繁寿(岐阜県)
谷 真彦(長崎県)
谷 芳子(長崎県)
谷口 崇拓(長野県)
玉澤 かほる(宮城県)
佃 宣和(北海道)
土岡 弘明(千葉県)
富井 信之(新潟県)
西原 勉彦(福岡県)
長谷川 嘉昭(東京都)
◎◎東 克章(熊本県)
平野 治朗(神奈川県)
平野 裕之(京都府)
廣瀬 哲之(神奈川県)
藤川 謙次(東京都)
藤瀬 修(大阪府)

藤本 淳(岩手県)
○船越 栄次(福岡県)
保坂 均(群馬県)
本郷 興人(北海道)
松下 健二(愛知県)

松原 成年(岐阜県)
松山 孝司(鹿児島県)
峯 柴 淳二(岡山県)
宮尾 益佳(新潟県)
村田 雅史(新潟県)

村橋 慶宣(大阪府)
茂木 信道(神奈川県)
安井 聡志(東京都)
梁川 輝行(岩手県)
吉永 英司(東京都)

吉野 敏明(神奈川県)
○若林 健史(東京都)
渡辺 和志(埼玉県)

賛助会員

医歯薬出版(株)
(株)インサイト
エビス(株)
(株)エフ・アール・エス
(有)エルバ
長田電機工業(株)
花王(株)
クインテッセンス出版
グラクソ・スミスクライン(株)
合同酒精(株)
小林製薬(株)
佐藤製薬(株)
サンスター(株)

サンデンタル(株)
三宝製薬(株)
(株)ジーシー
(株)松風
昭和薬品化工(株)
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
ストローマン・ジャパン(株)
タカラベルモント(株)
デンタルプロ(株)
デンツプライ三金(株)
(株)トクヤマ
(株)ニッシン
日本歯科薬品(株)

ジンマー・バイオメット・デンタル(株)
白水貿易(株)
(株)白鵬
Hu-Friedy Japan (株)
プランネットワークス(株)
プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン(株)
(株)モリタ
(株)ヨシダ
ライオン(株)
(株)ワイディエム
わかもと製薬(株)

(五十音順)

日本歯科医学会役員（平成 27 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

理事 和泉 雄一
評議員 小方 頼昌 栗原 英見 吉江 弘正
予備評議員 五味 一博 齋藤 淳 沼部 幸博

〔お願い〕 名称の変更・所属評議員の移動等ありましたら、すみやかに事務局までご連絡ください。

編集後記

歯周病学会会員の皆様には、日ごろより大変お世話になっております。冊子体の郵送廃止には慣れていただけましたでしょうか。私の場合、目の前に冊子体があれば自然と頁をめくり、興味ある研究報告に出会うのが常でした。ある意味、受身の勉強です。これからは、心構えを一新。自発的な勉強姿勢をもって、この情報化社会に乗り遅れないようにしなくてはなりません。

さて、ニュースレター 2016 年第 1 号をお届けします。2015 年 4 月の創刊号から数えて 3 報目です。まずは、国際交流委員会委員長の齋藤 淳先生からのアメリカ歯周病学会（AAP）との共催大会のご案内です。場所はアメリカ西海岸のサンディエゴ。齋藤先生の案内文によると、学会そっちのけで楽しめそうな場所です。とはいえ、世界の最先端情報も入手しなくてはなりませんね。次に日本歯科大学名誉教授 長谷川 明先生の追悼文が佐藤 聡先生から寄せられています。長谷川先生はもちろんのこと、他界された多くの先輩方のご尽力のおかげで、本学会がここまで興隆してきました。改めて、これまでのご功績に感謝いたしますとともに、ご冥福をお祈りいたします。その他、会員の先生方に必要と思われる各種情報を掲載しております。1 頁の主要コンテンツを参考に、ご自身に関係する記事をお見逃しなきようお願いいたします。

本ニュースレターの内容の多くは学会ホームページでも閲覧できます。しかし、ホームページから該当する記事までたどり着くには、案外と時間がかかるのです。その点、このニュースレターを利用していただき、短時間で効率的に必要な情報を仕入れていただけたら幸いです。前回も書きましたが、逐次改良を加えて楽しんでいただけるレターにしたいと思います。会員の皆様からの忌憚のない御意見、ご批判を期待します。

(広報委員会委員長 森田 学)